

お問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 寺井 博

電話 052(661)1611 内線 2510

平成25年2月26日

スマートフォンで見られる沿岸域の情報が大きく充実しました

海上保安庁では、油が流出する事故の際に速やかに周囲の情報が把握できるよう、スマートフォンで見られる沿岸域の情報を大幅に増やしました。

沿岸海域においてタンカー事故等の油の流出を伴う事故が発生した場合、海岸に油が漂着すると自然環境や経済活動に深刻な影響を及ぼします。そのため、国や地方公共団体、漁業関係者等は連携し、迅速・的確に油の除去等の措置を行う必要があります。

海上保安庁では、漂着油から自然環境を保護する情報の一つとして、全国の海岸を10段階にランク付けし、措置の優先度を指標化した情報(ESI 情報※)を最新の地図等に重ね合わせて、スマートフォン向けに提供してきました。

今回、より速やかに事故現場での措置が講じられるよう、スマートフォン向けの情報を全47項目に拡充しました。従来は印刷物やパソコンでしか閲覧できなかった自然環境に関する情報(生物の生息域、潮汐等)や経済活動に関する情報(漁業権区域、海水浴場等)をスマートフォン上で簡単に重ね合わせて見ることができるよう、事故現場での情報の把握がスムーズになると考えています。

また、マリンレジャー等普段から海の情報を得るための一つの方法として、広く役立てていただくことを期待しています。

※ESI: Environmental Sensitivity Index (環境脆弱性指標)

- 油流出事故現場で、除去措置を行う関係者がスマホの地図上で同じ情報を閲覧できるため、情報の共有が迅速になります。
- 9つの目的別マップを用意しており、漁業やマリンレジャー等にも役立つ情報が簡単に閲覧できます。



○ 緯度経度の表示

緯度: 34°52'27.5", 経度: 139°49'50.

○ 詳細情報の表示



○ 47項目の情報

- ESI 情報※
- 港湾
- 海水浴場
- 史跡
- 国立公園
- 航路
- 漁業権
- 藻場
- 潮汐情報 等

大規模流出関連情報 (スマートフォン版)

http://www4.kaiho.mlit.go.jp/CeisNet_mobile/

